

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境			0.31		-			2.3
1 音環境		3.0	0.15		-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		3.0	0.20		-			
2 温熱環境		1.5	0.35		-			1.5
2.1 室温制御		2.0	0.50		-			
1 室温		3.0	0.38		-			
2 外皮性能		2.0	0.25		-			
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-			
2.3 空調方式		1.0	0.30		-			
3 光・視環境		2.2	0.25		-			2.2
3.1 昼光利用		1.8	0.30		-			
1 昼光率		1.0	0.60		-			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-			
1 昼光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度	タスク・アンビエント照明方式で、必要基準を満たす。	4.0	0.15		-			
3.4 照明制御		1.0	0.25		-			
4 空気質環境		3.1	0.25		-			3.1
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	建築基準法規制対象外の建築材料を積極活用	4.0	1.00		-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量	中央管理方式ではない 換気量1.4倍以上	5.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-			
4.3 運用管理		1.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		1.0	0.50		-			
Q2 サービス性能		-	0.30		-			2.5
1 機能性		1.9	0.40		-			1.9
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40		-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30		-			
1 広さ感・景観		1.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース/執務スペース:77.33%	4.0	0.33		-			
3 内装計画		3.0	0.33		-			
1.3 維持管理		2.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-			
3 健全管理業務			-		-			
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30		-			2.7
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート 20年、壁:石膏ボード:20年、天井:化粧石膏ボード:30年	5.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	塩ビラインク鋼管、水道用ポリエチレン管にBを使用	4.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			1.6	0.20		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.2	0.30		-	3.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	1階階高:7.4m、2階階高:4.4m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.0935	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			2.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39		-	2.5
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.71	5.0	0.02		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.64 住宅(専有部) -	4.0	0.62		-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEIm=0.68	4.0	1.00		-	
	集合住宅の評価(3c)		-	-		-	
4 効率的運用			1.0	0.25		-	1.0
	集合住宅以外の評価		1.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		-	-		-	
4.2	運用管理体制		1.0	1.00		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	
4.1	モニタリング		2.0	-		-	
4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	2.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が分別可能	4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:70%	4.3	0.33		-	4.3
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの一部を満たす。広告物照明なし。	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	